



渡邊加那江さん (栖本町馬場・21歳)

今年、大学を卒業後、地元の農協に就職しました。今は、あこがれていた栖本太鼓踊りの囃子手(笛)として、本番に向けて猛練習中です。祭りの日まであと少しですが、精一杯がんばりたいと思っています。11月13日に開かれる例大祭には、皆さんもぜひ、お越しください。

宝島の健康

よさげ屋



福本 守さん (魚貴町・79歳)

◆毎日の楽しみは？
菜園畑で野菜を作ったり、魚釣りをしたりしています。自分で作った野菜はとてもおいしく、地元で釣った魚はなんでも食べます。これから気候が良くなるので、釣りを楽しみたいと思います。

◆健康の秘けつは？
特にありませんが、時々ウォーキングをすることです。魚貴町にはすばらしい歴史がたくさんあり、先日は史跡めぐりウォーキングで子どもたちに昔の話をし、交流することができ元気が出ました。



インターハイで3位を決めたこん身の試技

伝統をいつまでも

天草高校天草西校 (天草町) 3年 松本 稜平

私たち天草西校ウエイトリフティング部は、インターハイに16年連続出場している伝統校であり、「全国大会上位入賞」を目標にして毎日の練習に励んでいます。これまでに、インターハイの学校対抗で8位入賞した先輩たちや、全国大会で優勝し高校三冠を成し遂げた先輩もいます。私たち3年生2人は、8月に岩手県奥州市で行われたインターハイに出場し、私は目標としていた3位入賞を達成することができました。また、高校生活最後の大会となる山口国体では6位入賞し、自己記録も更新することができました。これからも、この伝統をいつまでも続けていけるように、後輩たちもがんばってほしいと思います。

目指すは県大会出場

一町田小学校 (河浦町) 6年 原田 垂佑

わたしたちミニバスケットボール部は、6年生9人、5年生6人、4年生6人、合計21人で活動しています。部員みんなが仲のいいチームで、練習のときの体育館はとてにぎやかです。今は、全員でディフェンスとスクリーンアウトの練習を一生懸命しています。わたしは、速攻からのレイアップシュートやハンドリングに力を入れて練習しています。7月23日には、月出小学校で行われた熊日学童五輪ミニバスケットボール大会に出場しました。結果は1勝1敗で、とても悔しい思いをしました。これからも、1試合1試合を悔いの残らないように全力で立ち向かい、みんなで楽しく活動していきたいと思っています。



熱心に練習をする児童

ぼくのわたしの学校部活 自慢

子どもの自主性をはぐくみ、個性を伸ばす保育

本渡ふたば保育園 (旭町)

本渡ふたば保育園(洲崎豊裕園長・全園児79人)は、モンテッソーリ教育を基本として、子どもの自主性と個性を尊重・重視した保育を目指しています。3・4・5歳児は縦割り保育を実施し、お互いに思いやりやいたわりの心が育っています。自然豊かな環境の中であって、広い敷地の中に青々とした芝生の園庭があります。郷土芸能の継承として「天草太鼓」の修得に取り組み、地域の行事の中で発表し喜ばれています。「一日保育士体験」や「親父の会」など、保護者と一体となった活動も盛んです。また、子育て支援センター「ふたばこども館」を併設し、親子の広場など地域の子育て支援に積極的に取り組んでいます。



大好きな園庭の芝生の上で!

このゆびとくまれ



絞り染めの特製Tシャツを着て記念の1枚

思いやりと何事にも意欲的に取り組める子どもに

島子保育所 (有明町)

島子保育所(喜多初枝園長・全園児29人)では、思いやりと何事にも意欲的に取り組める子どもの育成を目標に、また、子どもたちが喜んで保育所生活を楽しめるように心がけています。9月には、白地のTシャツに絞り染めをしてカラフルなTシャツを製作。子どもたちは、布を輪ゴムでぐるぐる巻きにする動作などに要領良く取り組み、できたTシャツは運動会で着ました。また、毎月クッキングを実施し、今年も田植えを体験し収穫した新米で、おにぎり作りに挑戦。アンパンマンに飾り付けしたおにぎりを「おいしかね」と言ってみんなで食べました。今後も、食を通して心身ともに健康な子どもに育つ事を願っています。

地域づくり コーナー

人が動く 地域が動く 天草が動く

住民が主役の伝統行事

御所浦地区振興会 (会長 花里昌直)

御所浦地区振興会では、毎年8月15日に「夏祭り花火大会」を御所浦港一帯で開催しています。この行事は、昭和40年から同地区の青年団が主催していたもので、天草市が誕生した平成18年からは、地区振興会の事業として取り組んでいます。祭りでは、金魚すくいやヨー釣りなどの出店のほか、賞品が当たるくじ引き大会や灯ろう流しを実施。クラ イマックスには約1,000発の花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩り、会場は地域の住民や帰省客など、多くの人が出でにぎわいます。一方で、過疎化が進み人口減少が著しい中、住民が主役となり伝統行事を行うのは年々厳しくなっています。しかし、それによって、地域が一体となって行うことのような伝統行事には、たくさんの方が集まっています。私は、地域の活力はこういった人が集まることから生まれるのではないかと考えています。そのため足掛かりとなるように、これからも地域住民が主役の伝統行事を続けていきたいと思っています。

熱心に練習をする児童



▲にぎわいを見せる「夏祭り花火大会」